別紙様式第10号（甲用）

博士学位論文審査及び最終審査結果報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

総合工学系研究科長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　学位論文審査委員会委員長

学位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。

記

１．課程申請者

　　　専攻・部門（講座）　　　　　　　　　　専攻　　　　　　　　　　　部門（講座）

　　　学籍番号

　　　氏　　名

２．審査年月日　　論文審査　　　　年　　月　　日～　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　最終試験　　　　年　　月　　日

３．学位論文審査及び最終試験の結果（「合格」・「不合格」で記入すること。）

　（１）学位論文審査　「　　　　　　　」

　（２）最終試験　　　「　　　　　　　」

４．博士の学位に付記する専攻分野の名称

　　　　学　術　・　理　学　・　工　学　・　農　学

　　　　　（該当する専攻分野に○を付すこと。）

５．論文題目　（外国語の場合は，その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。

６．学位論文の審査結果の要旨（A4版1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）

　　別紙１のとおり

７．最終試験の結果の要旨（A4版1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）

　　別紙２のとおり

学位論文審査委員

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 氏　　　　　　　　名 |
| 委員長 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 外部委員 | 　　　　　 （所属機関・部局・職名：　　　　　　　） |

別紙1（甲用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 |  |
| 論文題目（申請時）外国語の場合　　　 は，その和訳を併記する。 |  |
| 審査結果の要旨（1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）（注１）論文題目に変更がある場合は，変更後の論文題目とその理由も明記する。（注２）早期修了の場合は，条件等を満たした旨を記載する。※作成時に不要であれば（注）を削除する。 |

別紙１（甲用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

|  |
| --- |
| 審査対象論文一覧 |
| 論文発表（１）（レフェリー制のある学術雑誌）論文発表（２）（レフェリー制のある国際会議議事録） |

（注）発表論文目録の論文発表（１）及び（２）を掲載する。

（注）雑誌名の記載法は国際的な規則（Web of Scienceの表記）に従う。

（注）連名者の記載法はカンマで区切り，andは使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。　例）Taro Nagano, Ichiro Wakasato

※作成時に不要であれば（注）を削除する。

別紙2（甲用）

（最終試験の結果の要旨）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 |  |
| （注．最終試験の下記項目について1,500字程度で記載すること。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）１．日時２．場所３．参加者４．内容５．結果（注）「内容」は，論文内容を中心にこれに関連する科目について口頭試問により行う。※作成時に不要であれば（注）を削除する。 |

別紙様式第10号（乙用）

博士学位論文審査及び最終審査結果報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

総合工学系研究科長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　学位論文審査委員会委員長

学位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。

記

１．論文申請者

　　氏　　名

２．審査年月日　　論文審査　　　　年　　月　　日～　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　最終試験　　　　年　　月　　日

３．学位論文審査及び最終試験の結果（「合格」・「不合格」で記入すること。）

　（１）学位論文審査　「　　　　　　　」

　（２）最終試験　　　「　　　　　　　」

４．博士の学位に付記する専攻分野の名称

　　　　学　術　・　理　学　・　工　学　・　農　学

　　　　　（該当する専攻分野に○を付すこと。）

５．論文題目　（外国語の場合は，その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。

６．学位論文の審査結果の要旨（A4版1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）

　　別紙１のとおり

７．最終試験の結果の要旨（A4版1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）

　　別紙２のとおり

学位論文審査委員

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 氏　　　　　　　　名 |
| 委員長 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 委　員 |  |
| 外部委員 | 　　　　　 （所属機関・部局・職名：　　　　　　　） |

別紙1（乙用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 |  |
| 論文題目（申請時）外国語の場合　　　 は，その和訳を併記する。 |  |
| 審査結果の要旨（1,500字程度。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）（注）論文題目に変更がある場合は，変更後の論文題目とその理由も明記する。※作成時に不要であれば（注）を削除する。 |

別紙１（乙用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

|  |
| --- |
| 審査対象論文一覧 |
| 論文発表（１）（レフェリー制のある学術雑誌）論文発表（２）（レフェリー制のある国際会議議事録） |

（注）発表論文目録の論文発表（１）及び（２）を掲載する。

（注）雑誌名の記載法は国際的な規則（Web of Scienceの表記）に従う。

（注）連名者の記載法はカンマで区切り，andは使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。　例）Taro Nagano, Ichiro Wakasato

※作成時に不要であれば（注）を削除する。

別紙2（乙用）

（最終試験の結果の要旨）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 |  |
| （注．最終試験の下記項目について1,500字程度で記載すること。但し，1,500字を超えても構わないこととする。）１．日時２．場所３．参加者４．内容５．研究のための学力６．英語力７．結果（注）「内容」については，次のとおり行う。・論文内容に関連ある当該専攻の主要科目について，口頭試問又は筆記試験により行う。・専門の学術研究を行うに十分な英語の素養有無判定を口頭試問又は筆記試験により行う。・本研究科に所定の修業年限以上在学し，所定の単位を修得し退学した者が，退学後3年以内に学位を申請するに際し，学位規程第14条第2項に定める上記諮問等を免除する場合は，信州大学大学院総合工学系研究科における博士の学位に関する取扱細則36条に基づくものである旨を明記する。※作成時に不要であれば（注）を削除する。 |